



文部科学省

こどもまんなか
こども家庭庁

わかもの
こども若者★いけんぷらす
いけんひろば

ねが しゃかい
みなさんが願う人生や社会にするために、
たいせつ
学校でどんな学びが大切ですか？

ほうこく しりょう
報告資料

2025年1月14日～2月2日 アンケート開催 かいさい

2025年1月27日～31日 オンライン開催 かいさい

2025年1月29日～30日・2月3～5日・10日・12日 出向く型 む がた

ど わかもの じぎょう
2024年度「こども若者★いけんぷらす」事業

目次

• ^{かい} ^{さい} ^{がい} ^{よう} 開催概要3
• ^{さん} ^か ^{しゃ} ^い ^{けん} 参加者の意見5
1. ^{しょうらい} ^{じぶん} ^{みらい} ^{しゃかい} 将来の自分・未来の社会について 5
2. ^{じゅぎょう} ^{きょうかしょ} 学校の授業や教科書について	...17
3. ^{ひょうか} ^{せいせき} 先生からの評価・成績について	...33
• ^{さん} ^か ^{しゃ} 参加者アンケート（オンライン・ ^む ^{がた} 出向く型）40

開催概要（1/2）

テーマ	みなさんが願う人生や社会にするために、学校でどんな学びが大切ですか？
担当省庁	文部科学省
テーマ説明	<p>学校での学習の目標や内容は、「学習指導要領」で定められています。学習指導要領はおよそ10年に一度のペースで作り変えます。今、新しい学習指導要領に作り変える取組が始まっています。学校での学びを通じて、みなさんにはこれからの人生・社会をつくるための大切な力を身に付けていってほしいと思っています。</p> <p>新しい学習指導要領を作るにあたり、「将来の希望」や「学校での学び」について、みなさんの意見を「こども若者★いけんぷらす」の「いけんひろば」できかせてください。</p>
参加対象者	<p>【アンケート・オンライン】「こども若者★いけんぷらす」の「ぷらすメンバー」に登録している方のうち、小学生～高校生年代の方</p> <p>【出向く型】特別支援学校・学びの多様化学校等（計7校）に通う小学生～高校生年代の方</p>

開催概要（2/2）

アンケート	
開催日時	令和7年1月14日（火）～2月2日（日）
回答件数	187件

オンライン	
開催日時	令和7年1月27日（月）～1月31日（金） 各回19:00～21:00
参加者数	132人 うち内訳： 小学1～4年生…31人 小学5・6年生…26人 中学生…33人 高校生・高専生年代…42人

出向く型	
開催日時	令和7年1月29日（水）・30日（木）、 2月3日（月）～5日（水）・10日（月）・ 12日（水）
参加者数	47人

アンケート回答者の属性



参加者の意見

1. 将来の自分・未来の社会について

質問

- **1-1.** 将来、どんな自分になりたいですか。（小学5年生以上）
大きくなったら、どんな大人になりたいですか。（小1～4年生）
- **1-2.** 将来、どんなことができるようになりたいですか。（小学5年生以上）
大きくなったら、どんなことができるようになりたいですか。（小1～4年生）
- **1-3.** 未来の作り手として、将来、どんな未来の社会をつくりたいですか。
（小学5年生以上）
- **1-4.** 思い描く未来の社会をつくるために、これからどんな力をつけたいですか。
（小学5年生以上）

1-1. 将来、どんな自分になりたいですか。／大きくなったら、どんな大人になりたいですか。（1/5）

生活

不自由のない生活・自立した生活

- 不自由がない生活がしたい。（小5・6）
- 私は一人で地下鉄に乗ったりができないので一人で生きていけるようになっていたら嬉しいです。（中学生）
- 経済的に自立したい。（中学生）
- 30～40代まではプログラミング、IT関連の仕事をして、早いうちに株などで稼いでそのお金でファイアーして、仕事をいっぱいしなくて済むように過ごす。（中学生）
- 裕福な生活で、自分が挑戦したいことを挑戦できるようにしたい。（高校生・高専生年代）

健康的な生活

- しっかり寝られて休める。大人になっても今と同じ普段通りの生活をできたらよい。（中学生）
- ライフワークバランスが取れている生活をしたい！（高校生・高専生年代）

家族・友人・ペットと過ごす

- 仲の良い友達やペットと一緒に暮らしたい。一人暮らしはさびしいし、怖いし、風邪をひいたときに不安だから、誰かが一緒に家にいてほしい。（小1～4）
- 快適で子供と仲良く暮らしたい。（中学生）

充実した生活

- 楽しくて、充実している生活や仕事をしたい。（小5・6）
- 今は部屋が散らかっているので、将来はきれいな家に住んで、家具を白で統一し、幸せな暮らしをしたい。自分が嬉しい、楽しいと思える暮らしがしたい。（中学生）

好きなことができる生活

- 自分が好きなことができ、お給料もちゃんとあって、安定した生活ができれば十分だと思う。ただ仕事するだけより、自分が好きなことをして、お金を稼いだほうが長続きすると思う。（小5・6）
- 外国に行って外国の人と話してみたい。いろんな国の文化を知りたい。（小5・6）
- 休みの日にはアウトドアアクティビティをたくさん楽しみたい。いろんな国を巡ったりして、様々な体験をしたい。（高校生・高専生年代）

安心した生活

- 平和で安心した暮らしが、今のようになれる生活。（小5・6）
- 今までと変わらない普通の生活をしたい。（中学生）
- 個人としての尊厳と権利が守られ、安心して暮らせる自分。（高校生・高専生年代）

1-1. 将来、どんな自分になりたいですか。／大きくなったら、どんな大人になりたいですか。（2/5）

しよくぎよう
職業

せんせい きよういくかんけい
学校の先生・教育関係

- 学校を好きになれる授業が出来る**小学校の先生**（生徒にも責任があるのも理想）。（小1～4）
- **教育に関する国際系の仕事**に興味がある。文部科学省や国際連合の仕事に興味があり、英語をツールとして使う職業に就いてみたい。（中学生）
- 最近では自分で学校をやりたいと思っている。公立の学校を変えるのは難しいと自分の体験で思っているが、私立の学校は特色が出ていると思う。学校単位なら進んだこともやりやすいのではないかなと思う。教育に興味がある人は多いと体感的に思っているので、**仲間を集めて学校を作りたい**。（高校生・高専生年代）

けんきゆう
研究

- 大人になったら**宇宙の研究がしたい**。宇宙が好きで、宇宙の図鑑を読んで興味を持った。（小1～4）
- **星や化学が好きなので、それに関係した仕事**に就きたい。特に色々な素材を作る人になりたい。（中学生）
- **美容関係の研究開発者**になりたい。自分が理系女子であることで学校の中で過ごしづらいと思っている。髪の毛が赤いが見た目の影響で「勉強ができないのではないかな」と思われている。見た目でも周りに影響を与えられる人になりたい。**研究の技術を身につけたいし、周りに影響を与えられるような実力をつけたい**。（高校生・高専生年代）

いりよう かんけいしゃ
医療関係者

- 大きくなったら**手術に関わる医者**になりたい。外科医に一番なりたかったので、いま手が器用なのを保てるようにしたい。（小1～4）
- 看護師になりたい。小さいころに、お医者さんになりたかったが、大きくなってからは、責任が重大すぎて怖いと思った。**医療には関わりたいから看護師になりたい**と思っている。（小5・6）
- 将来は**医療従事者や医療関係の仕事に就きたい**。簡単ではないと思うが、だからこそなりたい。どんな仕事でもまわりまわって間接的に人のためになると思う。手術をして怪我や病気を治していくことを理想像としている。（中学生）
- **薬剤師の仕事**を目指しています。患者さんを笑顔にできるような人になりたいです。（高校生・高専生年代）

せんしゆ
スポーツ選手

- バasketボールが好きだから、**バasketボールの選手**になりたい。（小1～4）
- **野球で活躍**したい。（小1～4）
- **体操選手**。挨拶が丁寧にできる人。（小1～4）
- **サッカー選手**になりたい。サッカー選手になって、世界中のサッカーを見ている人を笑顔にしたい。（小5・6）

1 将来の自分未来の社会について

1-1.

1-2.

1-3.

1-4.

2 学校の授業や教科書について

3 先生からの評価・成績について

ぜんねんだいきょうつう
全年代共通

1-1. 将来、どんな自分になりたいですか。／大きくなったら、どんな大人になりたいですか。（3/5）

政治家

- 政治家、日本の未来をよくすることができる人。（小5・6）
- 将来、政治家になりたい。英語が話せるので、周りの人と協力して責任感のあるリーダーのような存在になりたい。（中学生）
- 政治に興味があり、政治家のキャリアを築きたい。国内の教育を変えたいと思っている。他に、音楽が好きで作詞作曲をしているので、前の首相のようなゴルフ外交ではないが、ミュージック外交を試みたい。前代未聞で面白いと思っていて、若者からの支持率も上がるのではないかと考えている。音楽は色んなジャンルの曲を作るが、社会問題を訴える曲をたまに作る。（高校生・高専生年代）
- 市長になって、自分の街をより発展させたい。（高校生・高専生年代）

経営者・起業家

- 社長になって少しでも影響があることがしたい。（小1～4）
- 経済や経営について何かしら学んで、経営する立場になりたい。興味がある政治関連でも何かしら活動を起こしたいとも思っている。学校から支給されたパソコンを使って、色々やっているなかで興味が出てきた。（中学生）
- 起業家として、世の中に今までになかった価値をもたらしたい。自分自身に正直になりたい。学校生活などで人と関わる中で、本当の気持ちに蓋をしてしまうことが多々ある。自分の意見を伝えられるようにしたい。（高校生・高専生年代）

その他職業

- 作家になりたいです。（小1～4）
- ゲーム実況が好きなので、ゲーム実況のYouTuberになりたい。（小1～4）
- ケーキ屋さんになりたいです。（小1～4）
- 管理栄養士になりたい。食べることがすごく好きなので、給食のメニューを考えてみたい。（小1～4）
- プログラマーになって人の役に立ちたい。（小5・6）
- 漫画家や小説家など創作系の仕事をする人になりたい。（中学生）
- 被災などで、犬や猫の病気やケアに困ると聞いたので、そんな動物たちのために役に立つ仕事をしたい。（中学生）

1 将来の自分未来の社会について

1-1.

1-2.

1-3.

1-4.

2 学校の授業や教科書について

3 先生からの評価・成績について

ぜんねんだいきょうつう
全年代共通

1-1. 将来、どんな自分になりたいですか。／大きくなったら、どんな大人になりたいですか。（4/5）

人を助ける・役に立つ仕事

- **こどもたちの自由をつくれる大人**になりたい。他には、**災害支援のよう**に人を助けることができる大人になりたい。理由は、母親がはたらいっている会社が、こどもたちの自由をつくる会社で、いいなと思ったから。また、母親が災害支援に行っていて、自分も役に立ちたいと思ったから。（小1～4）
- **貧困や病気で困っている世界中の人**を助けたり支援したりする**活動**がしたい。（小5・6）
- **将来の子どもたちのために役立つようなことをしたいです**。例えば、学校などで、子どもたちの気持ちに寄りそいながら、勉強をおしえたり、教育の在り方を考える研究者になったり、音楽や芸術で人の心を癒したり、励ましたりしたいです。（小5・6）
- **海外滞在経験を生かして人の役に立てる仕事**がしたい。（中学生）
- **自分のためではなく、人のために働きたい**。できれば世界に展開している企業に勤め、**貧困・環境問題**に取り組む仕事がしたい。（高校生・高専生年代）

その他

- **穏やかに楽しく仕事をしたい**。（小1～4）
- なりたいものはいっぱいあるけど、**自分に合った仕事**につきたい。（小5・6）
- 英語が好きだから、**外国で働く仕事**がしたい。（小5・6）
- **自分が心から楽しみ、やりがいを感じられる仕事**をしたい。（中学生）
- **一つの職をずっと続けるのではなく、多くの職業に関わる人**になりたい。（高校生・高専生年代）
- **地域社会に貢献できる人材になりたい**です。人と何かを繋げる、結びつけることができるような人を目指します。（高校生・高専生年代）

1 将来の自分未来の社会について

1-1.

1-2.

1-3.

1-4.

2 学校の授業や教科書について

3 先生からの評価・成績について

ぜんねんだいきょうつう
全年代共通

1-1. 将来、どんな自分になりたいですか。／大きくなったら、どんな大人になりたいですか。（5/5）

性格/人物像

やさしい人・明るい人

- 暗い気持ちになっている人を明るくできるような存在になりたい。（小1～4）
- 差別なく人に優しく出来る大人になりたい。頑張っている人の失敗もサポートできる大人になりたい。（小1～4）
- 気配りができる性格になりたい。困っている人を助ける人になりたい。（小5・6）
- 自分と他人を尊重できる人。（中学生）
- いつも全力で周りのことをきちんと考えて、常に感謝できる人になりたい。（高校生・高専生年代）

自分の考えを主張できる人

- 性格でいうと、他人に対して説得力を持って説明できるような大人になりたい。（小5・6）
- 自分の意見をはっきり言えるような人になりたい。自分が思っていることをみんなが必ずしも思っているわけではないので、自分の個性を出せる機会を増やしたほうが良いと思う。（中学生）
- 自分の夢を堂々と言いたい。自分の一番の理解者でいたい。（中学生）

その他

- 他の人から信用される人になりたい。（小1～4）
- ポジティブに考えられる人間になりたい。いやなことでつまずいたら、いや。（小1～4）
- 性格はほとんど今のままでもいいけれど、けんかすることが多いので、少しずつ折り合いをつけられるようになりたい。（小5・6）
- 責任を果たせる人になりたい。そうなれば、人に頼られるようになるし、その人のためにもなると思った。（中学生）
- 何事も恐れずに挑戦する人になりたい。（中学生）
- 自分の時間や価値観を大切に過ごせることが出来るようになりたい。（中学生）
- 教養のある大人。周りのことに柔軟に対応できる大人。（高校生・高専生年代）
- 自分を客観視できる人。（高校生・高専生年代）

1-2. 将来、どんなことができるようになりたいですか。／大きくなったら、どんなことができるようになりたいですか。 (1/2)

せんねんだいきょうつう
全年代共通

人に寄り添う・相手の立場に立つ

- みんなが何をして欲しいかを考えることができたり、**人の気持ちを考えることができるようになりたい。**(小1～4)
- **小さい子のどんな相談にでものれるようになりたい。**(小5・6)
- **他人を助けたりできる。**立場の弱い、いじめられている人をかばってあげられる。(小5・6)
- 自分の小さな行動でも、**他の人に助けられることができるようになりたい。**(中学生)
- **多方面の意見をリスペクト**し、双方の意見をまとめ、最適解を考えていきたい。(中学生)
- まず、**聞き上手になりたい**です。そして、心をすぐに開いてもらえるようになりたいです。(高校生・高専生年代)
- **相手の事を思いやれる人をつくりたい。**自分がイジメられた経験から、相手がどう思うか等についても自分軸がしっかりとしていないと出来ないで、自分自身をみがくこと。(高校生・高専生年代)

自立・自己管理できるようになる

- 将来、はたらいてもあまりお金をもらえなかったとき、**お金がなくなると生活できなくなるから、お金を貯める。**(小1～4)
- **時間の管理や、感情の管理**ができるようになりたい。(中学生)
- 心身共に健康でいるために、当たり前ではあるが、**生活リズムを整えられるようにしたい。**(高校生・高専生年代)

自分で考える・行動する

- **自己決定ができる。**人の意見も参考に聴く事ができる。(小1～4)
- 周りの意見に流されず、**自分の意志で物事を考えられるようになりたい。**自分が好きなことを仕事にしたいので、そのためには自分で物事を考えられるようになった方が良く思う。(小5・6)
- 将来的に医療従事者になりたい。**中学校の授業で教えてもらったことを右から左へ流していくのではなく、教えてもらったら行動ができるようになりたい。**(中学生)
- **批判的に考える力。**偏らずに適切に分析する力。「おかしい」と思ったものにはしっかり「おかしい」と言う力。(高校生・高専生年代)

意見を発信・主張できるようになる

- **恥ずかしがらずにいろいろ発言できるようになりたい。**(小1～4)
- 他人に対して、**説得力を持って説明できるようになりたい。**(小5・6)
- **自分の考えを人に深く伝えられるようになりたい。**(中学生)
- **人を巻き込む力**がほしい。興味のある再生可能エネルギーや環境問題の分野で様々な人に関わってきて、与えられた環境の中でリーダーなどの役割を担うことはあるが、これからは自分から発信して、興味を持ってもらえたり尊敬してもらえたりするような、そんな力を身に付けたい。(高校生・高専生年代)

1-2. 将来、どんなことができるようになりたいですか。／大きくなったら、どんなことができるようになりたいですか。(2/2)

せんねんだいきょうつう
全年代共通

知識やスキル

- 獣医になるためには、資格を取らないといけないかもしれない。勉強強をするのがよいと思う。(小1～4)
- テストで良い点をとることができたら嬉しいから覚えたい。(小1～4)
- 字をきれいに書けるようになりたい。(小1～4)
- 動物のことをもっと知って、色々な動物のしつけが出来るようになりたいです。(小1～4)
- 自分のなりたい仕事であり安定した職場に就職出来るように、勉強や努力が今よりも出来るようになりたい。(小5・6)
- プログラミングは言語がいくつもある。プログラミング言語を覚えて色々なゲームをつくってみたい。(小5・6)
- 将来の仕事が漫画家なので絵を上手にかけるようになりたい。(中学生)
- 自分だけが持つ必要とされる能力を磨く。(中学生)
- 誰かを助けられる人になりたいので、助けを求めている人の環境が分かるように勉強したい。例えば、お金がなくて治療を受けられず困っている人が、どうすればお金を受け取れるのか学びたい。(中学生)
- 課題解決や地方創生についての知識を身につけてアクションを起こせるようになりたいです。(高校生・高専生年代)

語学

- いろいろな言葉を上手く使えるようになりたいです。(小1～4)
- 英語を頑張って、英語検定もとりたい。資格を持っていたら仕事にも役に立ちそう。外国は文化などが違うから、行くのに少し抵抗がある。(小1～4)
- 世界中の人を支援するために言語を学ぼうと思った。(小5・6)
- 色々な言語を話すことができ、日本の文化を伝えながら海外の文化を取り入れたい。(高校生・高専生年代)

その他

- 気持ちが、おちこまないようにしたいです。(小1～4)
- 「楽しい！」と思えることを見つける。失敗しても大丈夫なことを分かるようになる。(小5・6)
- マルチタスクができるようになりたい。結構難しいが、将来やりたいことのためにはこれが必要になるかなと思う。(小5・6)
- 人に感謝して、自分が悪いと思ったら素直に認めることを心掛けて生活をするのがまず大事だと思う。(中学生)
- 頼られる人になるために、様々なことを経験し、色々な人が抱えている課題に対処できるような引き出しを持ちたい。自分が興味を持っていること、そうでないことに関わらず、色々なことにチャレンジしたい。(中学生)
- 何かに対して努力できるようになりたい。また、人や身の周りのものを大切にしたい。(高校生・高専生年代)

1-3. 未来のつくり手として、将来、どんな未来の社会をつくりたいですか。（1/2）

小学5年生以上

平等な社会・差別のない社会

- 全員平等で、制服も自由に選べて、「女だからこれをやってはいけない」ということがない社会にしたい。サッカーをやっているので、「女なのにサッカーをやってるんだー」と言われてしまう。すごく傷つくので、そういうことがない社会になってほしいと思っている。（小5・6）
- 上下関係をなくしたい。実際に上下関係で困ったことがあったわけじゃないけどなくてもいいことだしあっても意味がないと思ってる。同じ人間だし。（小5・6）
- 差別をなくそうとするあまり、ある人を優遇しすぎるということがない社会になってほしい。例えば、障害がある方をサポートしすぎることで、障害がある方がみんなと違う扱いをされることを嫌に思ったり、周りの人たちが特別扱いしたりするのは良くないと思う。（中学生）
- 生まれた時からそれぞれ平等にチャンスがある社会。生まれた年代で何かが変わってしまうのはあまりよくないと思う。（中学生）
- 貧富の差がなく、資本家によって労働者が搾取されない社会。（高校生・高専生年代）
- 発達障害や精神疾患のある人達とそうでない人達が一緒に働いたり活躍出来る社会。（高校生・高専生年代）

将来に希望を持てる社会・豊かな社会

- 大人か子どもかに関係なく、一人ひとりが希望を持てる社会がよいと思う。みんなが夢や希望を持てるような明るい社会がよいと思う。（中学生）
- 気持ち、経済、生活の面で豊かな社会を作りたい。ゆくゆくは、世界をリードする国になってほしい。（中学生）
- 子供のうちからやりたいことを見つけることが出来る社会。そして、子供のうちから社会への参加ができるような社会を作りたい。（高校生・高専生年代）

平和な社会・安心安全な社会

- ずっとなくなるしない紛争や戦争がある。どうにかして戦争がない社会にしたい。（小5・6）
- 戦争、紛争をなくすることはできなくても、それらが今起きていることを多くの人に理解してみんなで考えたい（私も）。（中学生）
- 皆が怒られない、安心して暮らせる社会がいい。（中学生）

誰一人取り残されない社会

- 自ら命を断ってしまう子供がいない社会にしたい。（中学生）
- 誰もが取り残されない、生きていくだけで価値がある社会を作りたい。（高校生・高専生年代）
- 誰も孤独だと感じない様な、地域の繋がりがある社会。（高校生・高専生年代）
- 立場が弱い人が、悩みを相談できる社会だといいなと思う。（高校生・高専生年代）
- 全ての子どもがその権利を十分に尊重され、幸せに生きられる社会。（高校生・高専生年代）

1-3. 未来のつくり手として、将来、どんな未来の社会をつくりたいですか。（2/2）

小学5年生以上

社会問題が解決した社会

- SDGsを全部達成できている社会にしたい。学校でSDGsについて考える授業をしている。地球温暖化や海にごみを捨てることで動物が死んでしまう。そうしたことが起きないようにしたい。（小5・6）
- 人間だけでなく、自然や生物と共存できる社会。（中学生）
- このままでいいと思える社会。（中学生）
- 皆で知恵を出し合って自然災害を未然に防ぐことや他者の困難に気づける社会。（高校生・高専生年代）
- 自分は過疎地域出身のため、過疎問題を解決したい。特に、若者が都市部に流出することや都市部と地方の教育格差について改善していきたい。（高校生・高専生年代）

自己実現できる社会

- みんなが未来を自分で決められるようになればいいと思う。奨学金が増えたり、学費が安くなったりして、学費などが理由で進学できないことがなくなるといいなと思う。（中学生）
- 勉強や仕事に追われるばかりではなく、個々が自分のペースで進んでいける、自主性のある社会。（中学生）
- みんながそれぞれ、好きになったことを続けられるような社会になればいいなと思う。好きなもの、得意なものを深めると、それぞれの分野で輝けると思う。（高校生・高専生年代）

政治や社会問題に関心を持っている

- もっと日常会話の中に政治の話があるとよい。（高校生・高専生年代）
- 一人一人が社会に対して興味・責任を持つ社会。現在は個人個人が社会に対して無関心・無責任である為、多くの社会問題が放置されている。（高校生・高専生年代）

意見を言える・反映される社会

- 一人一人が積極的に、社会の問題に対して思考して自分の意見を発信することができるような社会。（中学生）
- 現場の人とルールを作った人の意見に齟齬があることがあるので、現場の意見が届くような社会になるとよいと思う。（高校生・高専生年代）

その他

- 文化や伝統を継承して、絶やさない社会になってほしい。寺離れなど、後継者がいない・継承できない状況になっている文化を多く見るので、先人たちが築き上げた文化・伝統を絶やさない方が良く思った。（中学生）
- 今は、世代間のつながりが弱いと感じる。学校でも、横のつながりは強いが学年を超えた交流はあまりない。そういったつながりが強い社会にしていきたい。（高校生・高専生年代）

1-4.思い描く未来の社会をつくるために、これからどんな力をつけたいですか。(1/2)

小学5年生以上

判断力

- 今よりも**情報を自分の頭で整理する力**等をつけて行きたい。(小5・6)
- 周りの人に流されず、まっすぐに自分の意見を持ちたいです。あと**嘘は嘘だと見抜ける力**。(小5・6)
- 優柔不断な性格なので、迷ってしまうことがある。**決断力が欲しい**。(高校生年代)

課題解決力

- **問題解決の力**。(小5・6)
- 探究力といった**自分で課題を解決していくプロセスを身につけられるようにしたい**です。(高校生・高専生年代)

考える力

- 明確なスキルや検定ではないが、**ロジカルシンキングという、物事に對して根拠をもってその問題が解決できるかという論理的な考え方**ができるようになりたい。(中学生)
- **平等とはどのようなことなのかよく考える力**をつけたいです。(中学生)
- **様々な価値観に興味を示し、考える力** (高校生・高専生年代)
- **インターネットを使って様々な文献を読んで、自分の考えを補強できればよい**。そうすれば、自分の意見に自信もつく。(高校生・高専生年代)

主体的に行動する力

- 自律、尊重、創造 **主体的に考えて、当事者性をもって行動**できる力を身に付けたい。(中学生)
- **自分に必要なことを把握し、自分で実行**していく力。(中学生)
- 私の周りの多くの人が「普通」にこだわり過ぎていて、多数派が安全という意識が強い。**関心が強い人や主体性がある人**でないと、その考えからはみだす最初の一步が踏み出せない。小学校の時からそう感じていて、高校生になっても主体性がある人が少ないと思った。(高校生・高専生年代)

意見を伝える力

- **話せる語い力を身に着けることが大事**だと思う。何かを説明するときに役に立つと思うから。自分の気持ちも伝えていかないといけないので、語い力を身に着けた方がよいと思う。(小5・6)
- **相手の意見を尊重しつつ、自分の意見もはっきり言える力**。例えばクラスの中に友達グループごとのランクがあるが、上の方のグループは意見を言うことができ、力もあって、平等でないように感じる。(中学生)
- **誰かに何かを教えることのできる力**。(中学生)
- **周囲に問題を啓発できる力**。(高校生・高専生年代)
- **自分の意見を言う力**が必要だと思う。今は自分で意見を言える人がまだまだ少なく、その結果、政治に意見があまり反映されず、投票率が下がるという悪循環が生じている。(高校生・高専生年代)

1-4. 思い描く未来の社会をつくるために、これからどんな力をつけたいですか。(2/2)

小学5年生以上

思いやり・やさしさ

- 誰にでも、平等に接する力をつけたいです。例えば、相手の気持ちになるためのスキルを身につけたいです。(小5・6)
- 悪い人がいない社会にするために、まずは私たちが優しい心をもって相手に接することができればよいと思う。(中学生)
- 悩んでいる人に親身に寄り添い、助けてあげれる力をつけたいです。(高校生・高専生年代)

実体験や経験

- 社会経験を積んだ方がよいと思う。積極的にボランティア活動に参加しており、社会に貢献することが大切だと学ぶことができています。(中学生)
- 今は多様化やグローバル化で色々な進路が選べるようになっているが、それでも学歴社会の固定観念があると思っている。必要なのは体験や経験を積むことだと思う。(高校生・高専生年代)

コミュニケーション力

- 初対面顔見知り関係なく通用するコミュニケーション能力。(中学生)
- 聴者とのコミュニケーションはお店に入ったときなどに限られる。色々な人とコミュニケーションを取れる力を身につけられるように、色々な人と交流したい。(中学生)
- 出会った人と交流を深められる力。(高校生・高専生年代)

リーダーシップ

- 色々な人と協力して意見を聴けるようなリーダーシップとアイデアを思いつく力をつけたいです。(小5・6)
- コミュニケーション能力や求心力を身につけたい。コミュニケーション能力はともかく、求心力は今の自分に全くもって欠如していると感じるため。1人で世界は変えられない。(高校生・高専生年代)

その他

- もっとみんなを大切にし、明るくポジティブに生きる力をつけたいです。(小5・6)
- いま自分が出かけるとしたら、誰かに送ってもらうか、歩くか、公共交通機関を使わないといけな。一人で車を運転できるようになったらよい。(中学生)
- 結果だけでなくそれまでの経過もしっかり見ることが出来る力。(中学生)
- メタ認知能力。自分のことを分かり、対処できるようになることで、余裕をつくることができると思う。(中学生)
- 障害があっても健常者と同じことができるような社会になってほしい。そのために勉強はやったほうが良い。(高校生年代)
- 何歳になっても学び続ける謙虚さを身につける必要がある。(高校生・高専生年代)
- 自分が社会の一員で、社会に影響を与えられるという感覚が必要だと思う。投票率もそうだが、社会問題・地域の問題を解決したいと思っている人の中には、社会とつながりを持つようなプログラムに参加している人も多い。(高校生・高専生年代)

参加者の意見

2. 学校の授業や教科書について

質問

- 2-1. 今までの授業で、ワクワクした授業はどんな授業でしたか。また、その授業は、どうしてワクワクしたのですか。
- 2-2. 今までの授業で、がっかりした授業はどんな授業でしたか。また、その授業は、どうしてがっかりしたのですか。
- 2-3. 思い描く未来の社会をつくる力をつけていくために、どんな授業がよいと思いますか。（小学5年生以上）
- 2-4. 教科書の中で、どんなページが好きですか。（小学1～4年生）
- 2-5. 教科書の中で、「わかりにくい」「学びにくい」と思うところがありますか。（小学5年生以上）
- 2-6. どんな教科書になるといいと思いますか。（小学5年生以上）

2-1. 今までの授業で、ワクワクした授業はどんな授業でしたか。また、その授業は、どうしてワクワクしたのですか。 (1/2)

せんねんたいきょうつう
全年代共通

学んだことと生活や社会とのつながりを感じる授業

- 小学4年生の総合の授業で、車いすの使い方を勉強した。将来、親が車いすを使う生活になったときに役に立つと思う。おそらく、ためになると思った。(小学5・6年生)
- 理科の天気単元で、春の雲の動き方を勉強した。雲の動きについて学んでから、衛星の雲画像を見て、次の日の天気を予測するのがおもしろかった。勉強したことを活かして問題を解くことがおもしろかった。(小学5・6年生)
- 社会の授業。世界史を扱ったときに、最初はなぜ法律ができたのかを知らなかったが、法律の考え方がイギリスから始まったことや、それがあって今の政治という仕組みがあるのだと学んで面白かった。(中学生)
- 小学校の時に理科の実験室で4人班になって魚の解剖をした授業が楽しかった。普段は見えない体の中の臓器の数々を見て自分たちも持っているのだと自覚した。(高校生・高専生年代)

興味のある内容の授業

- 私は歴史が好きなので、社会の授業にワクワクした。先生が雑学と一緒に教えてくれて、楽しかった。(小学5・6年生)
- 音楽の授業が好きで、なかでもオペラ鑑賞がよかった。海外に興味があるので、授業でオペラが見られて面白かったし、はじめての体験ができた。(中学生)

実際に体験する授業

- 理科の実験がとてもワクワクした。どのような実験結果になるか、その実験結果からどのような事を思ったかを考えることがとてもワクワクした。(小学1～4年生)
- 1～2週間に一回くらい、地域の方のメロン畑に訪問して、お世話や観察、人工授粉や摘果、収穫などをさせてもらった。実際に体験したり、地域の人たちと交流できたのがとても嬉しかった。(小学1～4年生)
- 情報の授業でパソコンを使ってプログラミングをしたり、体育で体を動かしたりするのが楽しい。頭を使うだけではなくて、実際に手を動かすのが楽しい。(高校生・高専生年代)

発表する・自分の考えを伝える授業

- 作文は自分の思ったことが十分に相手に伝わるように書くのが楽しい。(小学1～4年生)
- 自分で資料を見て、スライドをついたり、発表したりする授業。(小学5・6年生)
- 公民の授業は好き。授業中に他の人の意見に対しても意見を言いやすく、明るい雰囲気で行っている。発言をするから学んだことが身につく感じがする。(中学生)

2-1. 今までの授業で、ワクワクした授業はどんな授業でしたか。また、その授業は、どうしてワクワクしたのですか。 (2/2)

ぜんねんだいきょうつう
全年代共通

自分で学びを進める授業

- 総合の授業が好き。みんなで行く移動教室の計画を立てて役割分担をした。みんなで何かをしたり、**自分でがんばって資料を集めて作ったりするのが好き**だから。(小学5・6年生)
- 総合の調べ学習や美術の何かを作る授業、行事の班決めや調べ学習などは、**自分で決めて、調べて、まとめる作業が好き**なのでワクワクする。(中学生)
- 総合的な学習の中の探究学習の時間。**自分の調べたいものを内発的動機に基づいて調べる**ことができる。大人とも力を合わせて自分が作りたいものを作り上げられる。完成したときはすっきり気持ちがいい。(高校生・高専生年代)

遊びやゲームを取り入れた授業

- 理科の授業で、電磁石を勉強したとき、**カップに入っているクリップを1回でどれくらい持ち上げられるかというクレーンゲーム**をしたのが楽しかった。(小学5・6年生)
- チーム対抗・ポイント制のゲーム形式で、勝てたら景品がもらえる英語の授業。**スピード感があって、ぼーっとする時間がないので集中できて、たくさん**のことを学んでいる感じがするから。(中学生)
- クイズやゲームの要素がある授業**が好き。例えば、体育の授業での試合や、国語の授業での漢字クイズなど。(高校生年代)

友達と一緒に活動する授業

- 体育のポートボール。**みんなで、作戦を考えたり、試合で勝てるように、練習をしたりした事**。(小学1～4年生)
- 理科、流れる水の働きで、校庭で、みんなで校庭の山に協力して川を作ったとき。いつもは喧嘩ばかりしているみんなと協力できて、**その実験のおかげで団結力が深まった**から。(小学5・6年生)
- 数学ですごく難しく発想力が必要となる問題を解くとき。**友達と一緒に解きあったり教えあったりすると面白い**。一緒に何かを達成することで、協働・協力の力がおのずと育成されていくとよい。(中学生)
- 友達との話し合い**がメインの授業。(高校生年代)
- 中学校では班活動をして班ごとに発表する授業が多かった。班活動をする**自分とは違う意見を持っている人と話すことができる**ので楽しかった。(高校生・高専生年代)

2-2. 今までの授業で、がっかりした授業はどんな授業でしたか。また、その授業は、どうしてがっかりしたのですか。 (1/2)

せんねんだいきょうつう
全年代共通

一方的な授業

- 理科の授業は、**黒板に書くばかり**のことが多く、あまりおもしろくない。
(小学1～4年生)
- 楽しいと思えない授業は、**ノートにただ単に写して、聞きたくもない話を聞かされた授業。話を何回も繰り返されてつまらない**なと思った。
(小学5・6年生)
- 社会で教科書を延々と読み聞かされるとがっかりする。**自分たちで考えることもなく、先生に言われていることが聞いても理解しにくい**のでつまらなかった。
(中学生)
- 化学の授業でただ教科書を読み上げただけだったのにがっかりした。**それなら自分でもできるので学校で授業を受けなくても良い**と思った。
(高校生・高専生年代)

学習内容が深まっていない授業

- 政治の授業で、自分の中学校では**政治について深く授業をしない**。各省庁の話、各政党の話など、もっと代表者に触れてほしい。
主権者教育は高校生からが多く、義務教育の過程で浅く終わるのはどうかと思う。
(中学生)
- 道徳の授業。**ありきたりな内容で、授業している側が求めている答えが明らかな**ため、どれだけ上手な作文を振り返りシートに書くかに重点があるように感じられた。
(高校生・高専生年代)

自分で考えることがない授業

- 算数の復習。**ずっと練習問題**で、とてもつかれた。
(小学1～4年生)
- 国語の授業で、**何度も同じところを読む**のがムダだと思う。文章を読む力を上げるためにやるのだと思うが、同じことをやっても数回で人間は理解するので、意味がないと思う。
(小学1～4年生)
- 先生がただ単に話しているだけだと頭にも入ってこない**。「考える」行動が入ると、身につくし楽しい。
(高校生年代)
- ただ問題を解き続ける授業。**せっかく学校で他の生徒と一緒に勉強している意味がない**と感じた。
(高校生・高専生年代)
- 先生の板書をただただ写す授業**にがっかりした。それであればインターネットで調べていくのと何ら変わりなく、教室でやる意味がない。**せっかく人が集まって授業を受けている意味がない**状況。
(高校生・高専生年代)
- 高校の理科の実験を楽しみにしていたのに、ほとんど全部座学になってしまったのががっかりした。**実際に経験しないと自分の頭に入らない**ので、もっと経験したいと思った。中学3年生のときには入試対策のために穴埋め問題を解くことがあったが、「単なる入試対策ではなく、今後の勉強を楽しくするためにやっている」というように**将来とのつながり**が示されているととてもよかった。
(高校生・高専生年代)

2-2. 今までの授業で、がっかりした授業はどんな授業でしたか。また、その授業は、どうしてがっかりしたのですか。
(2/2)せんねんだいきょうつう
全年代共通

レベルが自分に合わなかった授業

【簡単だった】

- 私の知能に合った学習をさせてもらえなかった授業。みんなが今学んでいることはもう知っていて、次のことにどんどん進みたいのに、繰り返し練習をさせられるのがすごく嫌だった。(小学1～4年生)
- 算数の授業全般。算数が得意だから問題演習がすぐに終わってしまい、他の子とペースが合わずに暇になってしまうから。(小学5・6年生)
- 小学校の授業で、簡単な問題に無駄な時間をかけて教えられたこと。(中学生)

【難しかった】

- わり算の筆算の授業で、クラスの半分くらいの生徒がさっぱり分らないのに、練習問題が18題も出てきてすごく大変だった。(小学1～4年生)
- もともと知識を持っている人が有利に進められる応用的な化学の授業にがっかりした。(中学生)

クラスメイトの態度にがっかりした授業

- 社会の授業でクラスメイトと2人ペアになって資料をまとめることになったときに、相手が言うことを聞いてくれなくて悲しかった。(小学5・6年生)
- 英語を話す授業で、帰国子女の生徒が「英語の発音がよい」と周りからばかにされていた。発音が苦手な人は逆に「なんであんなに発音が悪いんだ」みたいな感じの空気になってしまって、上手くても下手でもばかにされる時期があって、それにはとてもがっかりした。(中学生)

先生の教え方にがっかりした授業

- 社会や理科で先生が書くのが早くてみんなが追いつけなかった授業。
(小学1～4年生)
- 教科書には書いてある子供がワクワクしそうな内容ばかり飛ばして、真面目なところばかり飛ばさないところ。(小学5・6年生)
- 図工の時間で、本来なら図工は自由に描いていいはずなのに、「ここは物足りないからもっと描いて」「こう描いて」などと指示をされるとがっかりする。(小学5・6年生)
- 数学。小学生の頃だが、途中式ややり方、ノートの取り方まで制限されていて、とても窮屈だった。(中学生)
- 自分は体育が苦手だが、先生によってはコツをまったく教えてくれないことがある。そうすると、「できなくて当然」と思い、上達することをあきらめてしまうので、最低限のやり方は教えてほしい。(高校生・高専生年代)
- 探究の時間について、探究の準備段階としてロジックなどを学ぶ授業年次にあったが、参考文献の書き方を習ったり、書籍を調べてワークシートを埋めたりするのは、順序に従っているだけで面白くないと感じた。(高校生・高専生年代)

2-3. 思い描く未来の社会をつくる力をつけていくために、どんな授業がよいと思いますか。(1/3)

小学5年生以上

対話やコミュニケーション能力の向上につながる授業

- 話し合いの力が付けられるような授業。(小学5・6年生)
- 考えやすい内容でディベートをする授業があると、自分の意見やその意見に対する自分なりの根拠などを持てるようになると思う。
(中学生)
- ALTの先生や、外国人とコミュニケーションする機会を増やしたらいい体験になると思う。(中学生)
- 日本の英語教育は文法中心だが、将来海外に行けば、文法はあまり関係なくて、結局はコミュニケーションが取れるかどうかだ大事だと思う。文法を学ぶよりも、ディスカッションや、リスニング、スピーキングを学べるようにしたほうがよいと思う。(中学生)
- 自分の意見をしっかり伝えられる授業があれば、社会に出てもコミュニケーション能力が高い人として認められると思う。(高校生年代)
- 意見を大切にする社会を作るために、友達と意見を言い合う機会を増やして、相手に意見を伝えることの重要性、楽しさを養っているような授業にしたら良いと思う。(高校生・高専生年代)

自分たちが主体となって考える授業

- 自分が調べようと思ったことを調べる授業。(小学5・6年生)
- 生徒たちが考えることをメインとした、生徒主体の授業、実践的な授業がいいのではないか。(中学生)
- 授業をするというより生徒が主体となった授業。与えられた課題に対して「やらされる」のではなく、自分で意思を持って必要な分をこなすようにできるとより良い。(高校生・高専生年代)
- 身の回りで課題だと感じることに興味を持って主体的に解決していく力が、今後の社会を生き抜くために必要だと思う。授業においても、単に先生の話聞くだけではなく、自分自身が見つけた課題を周囲の人と協力して解決していけるような環境を整えられると良いと思う。(高校生・高専生年代)

2-3.思い描く未来の社会をつくる力をつけていくために、どんな授業がよいと思いますか。（2/3）

小学5年生以上

自分のペースや興味に合った授業

- ペースが早い子には発展した内容のテキストを与えたり、自分の興味のあるその教科にまつわるテキストなどを持ってくるなど、誰もが楽しめる授業。（小学5・6年生）
- ひとりひとりに特技や個性があると思うので、その個性を大事にした授業がいいと思う。例えば、この人はプログラミング、この人は小説を書くなど、一人ひとりが自主的な勉強ができる授業があるといい。（小学5・6年生）
- 少人数の、習熟度別の授業がよいと思う。得意なことを伸ばすことができるようになると思う。（中学生）
- 自由進度学習を導入できると良いと考える。できる人はどんどん力を伸ばせば良い。できない人は他の人に聞くなどして自分のペースで勉強できる。（高校生・高専生年代）

体験型の授業

- 社会科見学などの学校の外での学習を今よりもっと増やしてほしいと思う。（小学5・6年生）
- 総合的学習の時間で、公務員などの仕事を見たり体験したりする授業。今のうちに体験することで、どんな職業になりたいかや将来の選択肢が広がるので、知らない活動も知ることができるような授業を取り入れると面白いと思う。（中学生）
- 理科で面白い実験が増えてほしい。教科書で読むだけよりも、実際に手を動かした方が分かりやすい。（中学生・高校生年代）

2-3. 思い描く未来の社会をつくる力をつけていくために、どんな授業がよいと思いますか。（3/3）

小学5年生以上

学んだことと社会がつながる授業

- 年金や投資の授業をやったらお金に困る人が減ると思う。（小学5・6年生）
- 法律の授業もやってみたら、違法になってしまうことや「この場合はこうすればいい」ということがわかるようになるので、トラブルが減ると思う。（小学5・6年生）
- 現在の日本の状況（少子高齢化などの課題）を学ぶ授業。（中学生）
- 政治家を学校に呼んで、話を聞いたり、模擬選挙をしたりするなど、選挙の仕組みを実際に体験できるとよい。（中学生）
- 身近な社会と関連付けて学習できるとよい。理科で身近な例を教えてください、社会で身近なことに例えたりしてくれるとさらに分かりやすい。（中学生）
- 中学で必修科目としてメディアリテラシーなどを学べるようになると良い。現代社会は情報が沢山あるため、デマ情報に惑わされないためにもそういう力をつけたほうが良いと思う。（中学生）
- 住民票や家賃など、社会にでたときに使う知識についての授業。（高校生・高専生年代）

デジタル端末を活用した授業

- 自分がやりたいプログラミングに近い授業は全くないので、関係する授業を増やしてほしい。（小学5・6年生）
- 一斉授業ではなく、ICTなどを利用して、自分のペースで、自分のためになる学びをしたい。スタサプとかまじめなものだけでなく、教育系 YouTube などでも利用していいようにしてほしい。宿題も、一律ではなく、自分のためになる宿題を自分で選びたい。そうすると、先生が授業研究とかしなくて良くなり、空いた時間で、先生も主体的に力を入れる部分を選べるようになり、生徒と関わる時間も増え、いいと思います。中学校から、高校のように、必修科目を減らして、選択科目を増やしてほしい。副教科は選択にして、建築とかいま選択肢を増やしてほしい。授業は、ICTで全国で利用できるようにすれば、専門の先生は必要ない。（中学生）
- 将来システムを学ぶために、パソコンや機器と触れ合う体験型の授業が欲しい。説明を受けるだけではわからないので、機器で遊んだり触れ合ったりする時間が欲しい。（中学生）

2-4.教科書の中で、どんなページが好きですか。(1/2)

小学1～4年生

自分の興味に合う・興味を持てる

- 自然で暮らしている動物の生き方を調べるのが好きなので、自然のことを扱った教科書が好き。
- 国語の教科書のお話が好き。お話が好きなので、ふえたらいい。
- さかさまことばや、おもしろいゲームが書いてあるページ。
- 国語で、生きる力が付けられそうな本が紹介されているページがあった。その本は読んでみたくなった。

実践できる（自分でつくる・考える・話す）

- 国語の教科書にある「紙コップ花火の作り方」の授業で、実際につくったことで興味をもった。読んで、実際に作ってみるページがふえてほしい。
- 図工の教科書にある、家にある材料を使って、洋服を作るページ。
- クイズみたいなページ。パズルみたいな、じぶんでやってみるページ。
- みんなで発表しあえて、先生が言うことがないくらい、ひとりひとりが意見を言えるようなお題が書いてある教科書のページが好き。

新しいことを知ることができる

- 新しいこと（知らなかったこと）が書いてあるページ
- 国語の教科書の、ロボットについて書かれているページ。色々なロボットのことを知れて発見があり、すごいな～と思いました。
- 社会の教科書で色々な職種の人の気持ちがよく分かったのが良かった。

くわしい説明がある

- 分かりやすい説明が細かく書かれているページ。
- たくさん文字が書いてあるページが好きです。じっくり読める、理解ができるので、好きです。
- 教科書にたくさん文字があった方がじっくり読めるし、理解もできる。
- こどもは色々な情報がつまっていると教科書のページを何回も振り返るようになると思う。
- 国語は、文章を書くときに、例文があったり、「こう書くと伝わるよ」というポイントを教えてくれたりしているので好き。算数も同じようになってくれたら良いと思う。

2-4. 教科書の中で、どんなページが好きですか。(2/2)

小学1～4年生

絵や写真が多い

- 写真が載っていて、実物のイメージがわかりやすいページが好き。
- カラフルで、様子がわかりやすいとよい。たとえば、絵があつて理科の実験の様子がわかるとワクワクしてやる気が出る。
- 4コママンガで学習するページを見るのが楽しみ。マンガのページ数はあまり多くはない。
- 理科と社会は写真や絵がたくさんあって、見るのは楽しいです。でもゴチャゴチャして、本当に大事な部分を覚えにくいです。
- 字がたくさん書かれている教科書は難しいし、いやだと感じる。絵や文章がある教科書は良いと思う。例えば、文章のお手本がのっていると、どうすればわかりやすい文章になるのかが分かる。

こうなったらよいと感じること

- ふりかえりコーナーがあるとわかりやすい。算数でそういうページが多い。
- 教科書は紙も使うので個別最適化をするのは難しい。パソコンやタブレットを積極的に使い、個別最適化を進めた方がいい。一人ひとりで学習能力が違うので、パソコンやタブレットを使って能力に合わせた授業ができる方がよい。
- パソコンやタブレットで授業をするのがよいと言ったが、紙のテキストも残した方がよい。紙のテキストは手軽に見返せるから。現代は色々なデバイスがあるので小学生から使い方に慣れておいた方がよいと思う。
- 軽い教科書になるといい。ランドセルに入れると重くて肩こりになってこまる。
- 目がちかちかしくなくて、見やすい教科書がいい。今の教科書の内容はよい。
- 算数の教科書で、筆算がのっているページは合っているやり方だけでなく、間違ったやり方が書いてあるともっとわかりやすい。

2-5.教科書の中で、「わかりにくい」「学びにくい」と思うところがありますか。（1/3）

小学5年生以上

ポイントがまとまっていない

- 参考書のように、暗記事項や重要事項がまとめられていないので、勉強しにくい。（中学生）
- 数学の教科書が一番わかりにくい。用語をまとめたページがなく、テスト前に用語の意味を復習することができない。（中学生）
- 歴史の教科書は、日本史と世界史で年代が少しずつずれているので、どこか1か所にまとめてほしい。（中学生）
- 社会の教科書は大事な言葉ひとつに対して、大量の文章がある。大事な言葉に絞って記載してほしい。（中学生）
- 難しい文章が羅列されて学びにくい。（高校生・高専生年代）
- 世界史について、国がまたがっていてわかりにくい。国や地域ごとにまとめてもらえるとわかりやすい。（高校生・高専生年代）

分量が多い

- 教科書は重いのに、授業で1回も使わないページがたくさんある。（小学5～6年生）
- 学ぶことが多すぎて、学校の先生も「ここまで終わらせないといけない」と常に速足だし、授業を理解していない子が多い。（中学生）
- どの教科もとにかく量が多い。世界史も数学も共通テストまでぎりぎりのペースで学んでいる。（高校生・高専生年代）

重さ・材質・形のせいで使いづらい

- 直接、記入する際に書きにくく、消しゴムで消した跡がはっきり残ってしまう。紙が破れやすい。（小学5～6年生）
- 教科によって、大きさ形が違うのは持ち運びにくい。（中学生）
- とにかくどの教科書も重いにも関わらず学校ではいわゆる“置き勉”はダメだと言われている為、困っている。（高校生・高専生年代）

自分たちで考える余白がない

- 教科書に3つ～4つの例が記載されているので、意見を言っても教科書の例をそのまま言ったようになってしまう。教科書に記載する例は1つ～2つくらいにして、自分たちで解き方を探せるようにしてほしい。（小学5～6年生）
- 算数の教科書には答えや結論が書かれてしまっているが、もっと自分たちで考えられるようにしてほしい。答えや結論が書いてない方が、自分で考えられそうだと思う。（小学5～6年生）

2-5.教科書の中で、「わかりにくい」「学びにくい」と思うところがありますか。（2/3）

小学5年生以上

説明・解答が足りない

- 算数等の練習問題に答えを載せて欲しい。休んだ日に答え合わせがあると丸つけができなくて分からない。問題が埋もれてしまう。そうだとすごく勉強がしにくい。（小学5～6年生）
- 教科書は先生の解説がないと分からないので、復習には使いづらい。別に問題集を買っている人もいるが、教科書を使って復習するしかない人もあるので、そこで格差が生まれる。（中学生）
- 全教科に共通して、もう少し詳しく解説してほしい。（中学生）
- 数学の教科書やワークは解法が省略される。前の単元で習ったことだから省略されているなら「〇ページを参照」と書いてほしい。なぜ省略されているのかが分からないと困る。（高校生・高専生年代）
- 公式を載せるだけで、なぜそうなるかが書いていないことがある。共通テストはそこが狙われている中、情報が不足している。（高校生・高専生年代）

図表がない

- 表やグラフが大事。公民なら、写真や組織図とかがいっぱいあったほうが分かりやすい。数学なら、立体がのっているとよい。解説を読むのが苦手だから、解説の解説が欲しいくらいに感じる。（中学生）
- 社会ではもっと図解がほしい。人物の関係性や、利害関係などがわかると歴史の流れが掴みやすくなるから。（中学生）

デザインが分かりづらい

【文字】

- 文字が視力のせいでたまに読めない。音読のときにわからなくなる人がいる。文字をもう少しわかりやすくしてほしい。（小学5～6年生）
- 算数は文字が大きすぎる。もう少し小さくて詰まっている方が頭に入りやすい。（小学5～6年生）
- サイズを大きくしてほしい。中学までの教科書はB5サイズで見やすかったが、高校では小さくなって文字が読みにくい。（高校生・高専生年代）
- 文字と文字の間が狭すぎて書き込みができないことがある。（高校生・高専生年代）

【色づかい】

- 全科目の教科書がカラフルでかわいいが、カラフルすぎてどこが大切なのが分かりづらいと思う。（小学5～6年生）
- 赤文字を増やしてほしい。（高校生・高専生年代）

2-5.教科書の中で、「わかりにくい」「学びにくい」と思うところがありますか。（3/3）

小学5年生以上

こうなったらよいと感じること

- 色々なレベルの問題が入った教科書だったらよい。簡単すぎる問題をたくさん解いていても「解いているだけ」という感じになり、意味がない。難しい発展問題もあった方がよいと思う。（小学5～6年生）
- 理科の勉強をしていて「いつ使うための勉強なのかな」とたまに思う。身近な場面でいつ使うのか教科書に書いてほしい。（小学5～6年生）
- 図形などの複雑な問題はデジタルの方が良い。（小学5～6年生）
- 英語が、小学校ではじまったからと、中学校で急にむずかしくなるのはおかしい。（中学生）
- 社会が地理と歴史と公民に分かれているが、SDGsがどの教科書にも載っていて、もっと効率よくできるのではないか。（中学生）
- 世界史も日本史も過去から学ぶが、共通テストは近代史の設問が多い。近代史の学習に間に合うような教科書にしてほしい。（高校生・高専生年代）

2-6.どんな教科書になるといいと思いますか。(1/3)

ぜんねんだいきょうつう
全年代共通

ポイントがまとめられている

- あまりゴチャゴチャしてない。コンパクトに説明してある。音読するときには複雑な言葉じゃない。(小学1～4年生)
- 暗記系は、大事なポイントなどをまとめて説明してくれているページがあると分かりやすくなって、もっと覚えられる(小学1～4年生)
- 説明は細かく多く、でも、大きなポイントは目立つような教科書。(小学5・6年生)
- 章の終わりなどに要点まとめを作って欲しい。(高校生・高専生年代)

考えを深められる

- いきなり解き方を考えるのではなく、まずは自分で考えられる教科書。(小学5・6年生)
- 教科書だけならみんな同じ意見になってしまうが、教科書から広げていくと考えが多様になる。自分でも調べてみるための「匂わせ」みたいなものが教科書にあるとよいと思う。(高校生・高専生年代)
- 答えがすぐに見えて来てしまうものではなく、解法やその答えに至るまでの過程を詳しく扱った教材。(高校生・高専生年代)

誰にとってもわかりやすい工夫

- すでに習っていても他の漢字との組み合わせで読み方が難しい漢字にはふりがながあって、難しい言葉が使われていない教科書がいい。(小学1～4年生)
- 作成過程にその教科の専門以外の人も関わることで、その教科が苦手な人にとっても分かりやすくできると良いと思う。(高校生年代)

興味がわくコンテンツがある

- 勉強の区切り目で、ゲームでおさらいできたらよい。(小学1～4年生)
- ちょっとした雑学が載っていたりして、読んでいて楽しい教科書。(小学5・6年生)
- 先生が教えてくれる歴史のおもしろい点は記憶に残るので、豆知識などが書いてあるとよい。(中学生)
- 物事の成り立ちや豆知識を紹介するなど、教えられる物事(公式や歴史上の人物等々)に対する探究心の糸口をつかむような内容になるといい。(高校生・高専生年代)

2-6.どんな教科書になるといいと思いますか。（2/3）

ぜんねんだいきょうつう
全年代共通

分量・重さ・材質がちょうどよい

【分量】

- 学ぶ内容を増やすときは、これまで学んでいたもので時代に合わなくなったものを減らすなどしてほしい。学ぶ内容が多すぎると、身につかない。（中学生）
- 資料があるときには資料が目立つように文字数を減らしたのになると良いと思う（高校生・高専生年代）

【重さ・冊数】

- 教科書は1年間を3冊くらいに分けて軽くしてほしい。（小学5・6年生）
- 上巻・下巻に分けるのではなく、1冊にしてほしい。勉強している途中で急に終わるのが嫌だし、上巻・下巻に分かれていると管理が難しい。1冊にまとまっているほうが、集中力が上がりそう。（小学生）
- 重量が軽いといい。一日に学んだ科目の分を復習するために教科書を持って帰りたいが、重いし教科書だけでバッグの容量が埋まってしまう家で使わない。（高校生・高専生年代）

【材質】

- グラフや線を書き込むとき、間違えることがあり、消す必要がある。ルーズリーフのような、なめらかで消しやすい紙にしてほしい。（小学5・6年生）
- 和紙とか反射がキツくない紙質。（高校生・高専生年代）

デジタル技術を活用している

- 教科書とプリントとVRがあって、まずは教科書やプリントを読んで、そのあとVRの中をのぞき込む進め方がよい。社会の授業なら、まちの中をのぞいてどういう風にそのまちができたかや、まちの人がどういう風にはたっているかを見られるとよい。（小学1～4年生）
- 書き込みができるデジタル教科書がいい。（小学5・6年生）
- 科目ごとにデジタル教科書を使うか決めたらよいと思う。国語は文章に線を引いたりするため紙がよいと思うが、数学や英語では、デジタルを使ったほうが分かりやすくなる。（中学生）
- 色々な教科を勉強したいと思って家に持ち帰ると荷物が増える。紙が必要なところはそのまま、図や写真はなるべくデジタルに代用して、紙とデジタルを併用できたらよいと思う。（中学生）
- 点字を使う生徒は、1つの教科で教科書が10冊くらいになる。点字ディスプレイを使えば、教科書が何冊も入るのでいちいち探さなくてもよいし、はるかに軽い。（中学生）
- 家で勉強するときに教科書を自分で読んでいるとやる気がなくなってくるので、音声で読み上げしてくれるようにしてほしい。（高校生年代）

2-6.どんな教科書になるといいと思いますか。（3/3）

ぜんねんだいきょうつう
全年代共通

図表や詳しい解説がある

- どんな教科書がいいかというと、みんなが分かるような教科書がいい。簡単でなくても理解ができる教科書。どちらにせよ理解はするが、さらに早く理解できる教科書がいいと思う。教科書の中には図が書いていない問題があるので、もっと図やヒントがあると理解しやすくなると思う。（小 1 ～ 4）
- 社会や理科について、用語が難しすぎてよく分からないことがあるので、ページの端などに説明を入れてほしい。（中学生）
- 絵があると楽しい雰囲気だと感じる。文字だけで書かれるよりも、写真や絵が入っているほうが良いと思う。（中学生）
- カラーで、図や絵が多く記載されている。（高校生・高専生年代）

学習進度にあわせて使える

- 難しいチャレンジ問題をつくれたほうがいい。苦手な子が解いているのを待つのがつまらない。だから難しい問題がほしい。（小 5 ・ 6）
- 算数は解けない問題が多いから答えと解説をつけてほしい。なぜ答えのようになるのか、算数の解き方の説明があったらわかりやすい。レベル別にして、ついていけない子に対しては補習をしてほしい。（小 5 ・ 6）
- みんなが自分のレベルに合わせて、安心して学習できるような教科書がこれからの時代に望ましいと思う。（中学生）

参加者の意見

3. 学校の授業や教科書について

質問

- **3-1.** 授業中に、先生からどんな場面でどんな言葉かけや手助けをしてもらおうと、やる気が出ますか。(小学5年生以上)
授業中に、先生からどんなときにどんなことを言われると、「やったあ」「もっとがんばるぞ」と思いますか。(小学1～4年生)
- **3-2.** やる気が出るには、どんな成績のつけ方がいいと思いますか。
(小学5年生以上)

3-1. 授業中に、先生からどんな場面でどんな言葉かけや手助けをしてもらおうと、やる気が出ますか。／
授業中に、先生からどんなときにどんなことを言われると、「やったあ」「もっとがんばるぞ」と思いますか。（1/3）

せんねんだいきょうつう
全年代共通

励ましや寄り添う言葉

- プラスことばをかけられたとき。マイナスことばではなくて、「問題を解くのが早いね」のように言われたときにもっとがんばるぞ、やったあと思う。
（小学1～4年生）
- 問題に戸惑っているときに、優しく分かるまで教えてもらう。解き方を教えてもらった後に、「大丈夫だよ」、「解いてみようよ！」という声かけ。
（小学5・6年生）
- 間違ったやり方をしているとき、「全部間違っている」と言うのではなく、「ここまでは合っている」などとポジティブな、全部を否定しない話し方をしてくれるのがいい。
（中学生）
- 今までにもらった言葉で嬉しかったのは「もう一回やれば大丈夫だよ」
「もう一度直してみれば大丈夫だよ」だった。
（高校生年代）
- わからなかったときに、「今教えられてよかった」とか「これは将来役に立つよ」など間違えても恥ずかしくないようにしてもらおうとやる気が出る。
（高校生・高専生年代）
- やりたいことがわからないとき、できないときに一緒に考えてくれる姿勢の方が大事だと思う。
（年代を「回答しない」と答えた方）

ほめる言葉

- 努力を認められた時。みんなで取り組んだことをほめられた時。
（小学1～4年生）
- ほめられて伸びるタイプだから「こういうところがいいね」と言ってもらいたい。
（小学5・6年生）
- 先生が「凄く上手だね」「これからも頑張ってるね」と言ってくれる。そう言われると嬉しい。
（小学生）
- 「すごいね」「よくできたね」などは普段からみんなよく言われていると思うが、単に「すごいね」ではなく、どこがすごいのか具体的に言うてほしい。そのように言われると嬉しいし、できている所・できていない所が明確になる。
（中学生）
- 過程をほめることが大切。数学であれば途中式が合っていることをほめたり、前回の点数より上がっているね、という声かけをしたり。
（高校生・高専生年代）

3-1. 授業中に、先生からどんな場面でどんな言葉かけや手助けをしてもらおうと、やる気が出ますか。／
授業中に、先生からどんなときにどんなことを言われると、「やったあ」「もっとがんばるぞ」と思いますか。（2/3）

せんねんだいきょうつう
全年代共通

アドバイスやヒント

- わからない問題があったときに、先生に「**こうやったらできるんじゃない？**」とアドバイスをもらえると「**もっとがんばるぞ**」という気持ちになる。（小学1～4年生）
- 質問の意図があまり分からない時や書き方、考え方が分からない時に、**程よくヒントをもらえ**ると考えやすくなりやる気が出ると思う。（中学生）
- できないときに、上手いかない理由や原因を探して、**コツやポイントを教えてください、一緒にやってもらえたり**するとやる気につながる。（中学生・高校生年代）
- 答えではなくて、**自分たちで答えをみつけるためのヒントや後押し**をしてもらえる授業。（高校生・高専生年代）

自主性を尊重する姿勢

- 算数で**理解**してるところだったら、**どんどん先に進めていい**と言われたのは、嬉しかった。（小学5・6年生）
- 選択の機会をくれる**時。（中学生）

サポート・授業についてこれているかの確認

- どう？と優しく聞かれるだけでも問題や疑問を答えやすくなって**良い。（小学5・6年生）
- 「**ここはどうなると思う？**」「**どうしてそうなると思う？**」という問いかけや、**理解できているかの確認**があるとよい。（中学生）
- 私は、先生に自分が「**ここが分かりません**」と聞くのが苦手。また、授業中に「**意見を言ってくれる人？**」と言われても手を上げにくい。わからないときに自分が当たるのは嫌だと思ってしまうので、**「発表するためにはこういう風にしたら良いよ」というのを事前に説明したり、意見を言うために必要な考え方や問題を考える土台を作ってくれたりする**と良い。声掛けよりは、土台を作ってくれる方が良い。（中学生）
- 授業中に手が止まって困っているときに、**先生から声掛けしてくれると安心感を持てるし、対応してもらいやすくなる**。自分から話すのが苦手な人にとってはありがたい。（高校生・高専生年代）

3-1.授業中に、先生からどんな場面でどんな言葉かけや手助けをしてもらおうと、やる気が出ますか。
(授業中に、先生からどんなときにどんなことを言われると、「やったあ」「もっとがんばるぞ」と思いますか。)(3/3)

自分を見してくれる姿勢

- 自分から話してこない生徒にもさりげなく声を掛け、ちゃんと見てい
ることを伝えられるとやる気を出してもらえと思う。(高校生年
代)
- 成長や進歩を見してくれるとうれしい。合っている、間違っているでは
なく、どういふことができるようになったとか、どういふ風に考えが変化し
ていったかという変化に対してプラスな評価をしてくれるとうれしい。
(高校生・高専生年代)
- 各々の弱点を克服できるプリントを、個別に配ってもらったとき、先
生は一人一人を見ているという安心感や、やる気がでて成
績が上がったことがある。(高校生・高専生年代)

ネガティブな例

- やる気が出ることはあまり思い浮かばない。逆にいやなことはいつぱ
い思い浮かぶ。たとえば、音楽の授業で、楽器を演奏して音が鳴ら
なかったとき、どうしたらよいか先生に聞いたら「私にはどうにもできな
い」と言われた。いやだったし、練習もできなかった。先生には一緒に
考えてほしかった。(小学5・6年生)
- 小学校3年生のときに担任の先生がすごくいやな人だった。友達が
言うことを、別の意味で受け取って勝手に「こういう子だ」と決めつけ
てしまう人だし、みんなの前で怒ったりする先生だった。そのときに
すごい心が傷ついて今でも引きずっている。内面を見してくれる先生
だったらよかったなと思った。(小学5・6年生)

3-2.やる気が出るには、どんな成績のつけ方がいいと思いますか。(1/3)

小学5年生以上

評価の場面を工夫する

- 学ぶ姿(話し合いの様子など)をしっかり評価してもらいたい。(小学5・6年生)
- もう少し、時間の使い方など色々な面を評価してくれるといい。(小学5・6年生)
- 点数だけではなく、学んだ過程(ワークの書き込みや授業の様子)を評価に入れるやり方を継続すべきだと思う。(中学生)
- 生徒が成長したとき、成長の前後を平均して評価するより、成長後の成績を優先的に、大きく反映させるという付け方がいいのではないか。(中学生)
- 現在の成績がテスト重視でつけられている。身近な例に対してどう思うかといった、考えるところを評価してほしい。教科書から外れた、社会問題について考えるところを思考・判断の成績に入れてくるとやる気が出る。受験生になると、学習は覚えることだけがゴールになる。スケールをさらに大きくして、学習は将来に活かすためにすることにしたい。身近な例を入れたり、社会のニュースを取り入れたりして、覚えるだけでない色々な考え・能力を高めていけるとよいと思う。(中学生)
- 勉強の成績だけでなく、授業態度や課題提出まで含めたものにする。(高校生・高専生年代)

評価の基準を明確に示す

- 成績がどういう項目でつけられるか公表してほしい。(小学5・6年生)
- 学校によって成績のつけ方が違うと思う。通知表は入試にも関わるので、不平等がなくなるように明確な基準が欲しい。(中学生)
- 小学校のうちは、学習のねらいも評価の基準も知らされないまま授業がされ、評価されていたように思う。そのような方式を行っている学校がまだあるとするならば、改善をすべき。(中学生)
- どのような基準で成績をつけるのか、透明性を高めてほしい。(高校生・高専生年代)
- 先生によってテストの難易度や成績の付け方が不公平になるのはやめてほしい。(高校生・高専生年代)

- 1 将来の自分未来の社会について
- 2 学校の授業や教科書について
- 3 先生からの評価・成績について

3-1.

3-2.

3-2.やる気が出るには、どんな成績のつけ方がいいと思いますか。（2/3）

小学5年生以上

教科に応じて柔軟に評価する

- 楽器演奏は、分野によっては軽音部の生徒が得意なところもあり、初心者との点数に差が生まれてしまっている。実技が成績に反映されすぎるのはあまりよくないのではないかと思う。（中学生）
- 芸術系の教科は、作品の出来などではなく、主体性だけで評価すべきだと思う。芸術の上手い下手や、技術の受け取り方は必ず人によって違うから。（高校生・高専生年代）
- 今の学習カリキュラムを見ていると、「思考」「判断」「表現」の評価の割合が大きく、全教科に反映されている。探究は主体的に取り組む態度の比重を上げるなど、教科によって見る観点を考える評価方法になればよい。（高校生・高専生年代）

数値に限らない評価やアドバイスをする

- 頑張ったところや応援メッセージ等が載っているとやる気が出る。（小学5・6年生）
- 具体的な解決策を書いてもらえると「次からこうすればいいんだな」と思えるのでありがたい。（小学5・6年生）
- 成績と一緒に、おすすめの勉強の仕方とか復習したほうがいいところとか自分の課題を確認できるようなものだといふと思う。（中学生）
- 最近、評価の仕方が変わって、5段階評価に加えて、ABCの3つの観点で説明がついて、何ができて何ができていないのか少しわかるようになったのがよい。テストの結果や成績についてアドバイスを追加してもらえたらよりうれしい。（中学生）
- 頑張っていたことを各教科一言ずつ書いてもらったらやる気が出る。（高校生・高専生年代）
- 各教科の先生からのコメントがあると、どこを勉強すればよいか知ることができるので良いと思った。（高校生・高専生年代）

成績の丁寧なフィードバック

- 成績が低かった時に、自分としてはすごくがんばったのに何がダメだったのか分からなかったり、十分だけど目指していた成績と違ったりすることがあった。何がダメだったのか、何を改善すればいいのか、面と向かって教えてほしい。（中学生）
- 成績を学期の最後に知らせるだけでなく、学期の途中にも成績の状況やどうすればもっとあげられるのかを教えて欲しい。（高校生・高専生年代）
- 成績を渡されるのが各学期が終わるタイミングなので、学期の途中は自分の状況が分からず何をがんばれば良いのかが分からない。学期の途中で成績をつけ、何をがんばればいいのか教えてもらえるとやる気が出ると思う。（高校生・高専生年代）

3-2.やる気が出るには、どんな成績のつけ方がいいと思いますか。(3/3)

小学5年生以上

自分の成長が見えるようにする

- 折れ線グラフで一年の成績の上がり下がりがわかる。(小学5・6年生)
- 順位も大切だが、自分の上がり下がりが明確だとやる気が出る。(高校生・高専生年代)
- 前の学期に比べてどこがどのように伸びたかを教えてくれると、モチベーションにつながる。(高校生・高専生年代)

ポジティブな表記にする

- 今の通知表には△があり、良くない感じがしていやな気分になるので、花丸・二重丸・丸などにすればいいと思う。(小学5・6年生)
- 一番下の評価である「もう少し」を、「頑張ったね!」「あともう少し!」という言葉にしてほしい。(小学5・6年生)

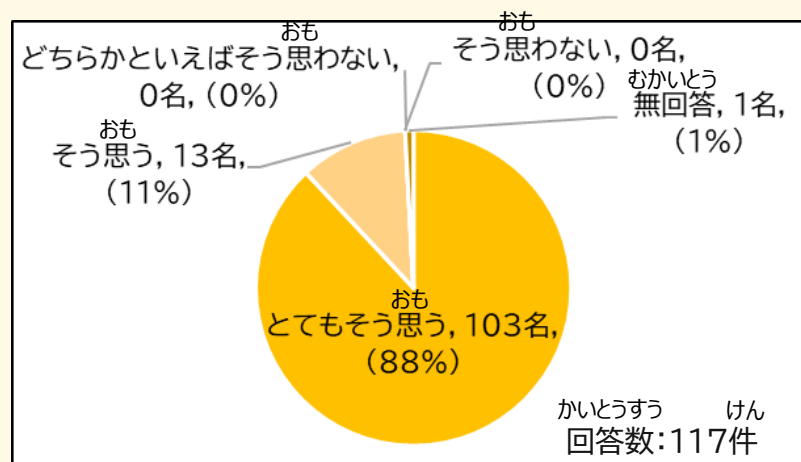
その他

- 新学期に通知表を学校に返すとき、親や子どもが先生に対する要望を伝えられるようにしたいと思う。先生に直接言うのは恥ずかしい人もあるので、通知表に書くようにした方が、言いたいことを伝えられると思う。(小学5・6年生)
- 学校に行っていないくてすべて斜線なのでわからない。(小学5・6年生)
- ニュースで見たが、成績を廃止している学校がある。成績をつけることは立ち位置を知るという意味では助かる。ただ、できない教科のコンプレックスを持ってしまうたり、成績が全てだと思ったりしてしまうこともある。学校の成績はひとつの指標であることをもっと説明したうえでサポートしてもらえれば子どもたちも成績の必要性を理解できると思う。(高校生・高専生年代)
- 中学校の理科の先生が、提出物が提出期限に間に合わなかった場合でも、最終期限に間に合えば同様に扱ってくれていたのが良かった。不登校や病気でなかなか学校に来られない人たちにとっては大事な仕組みだと思う。(高校生・高専生年代)

参加者アンケート（オンライン）

※一部を抜粋して掲載

今日の「いけんひろば」に参加してよかったと思いますか？



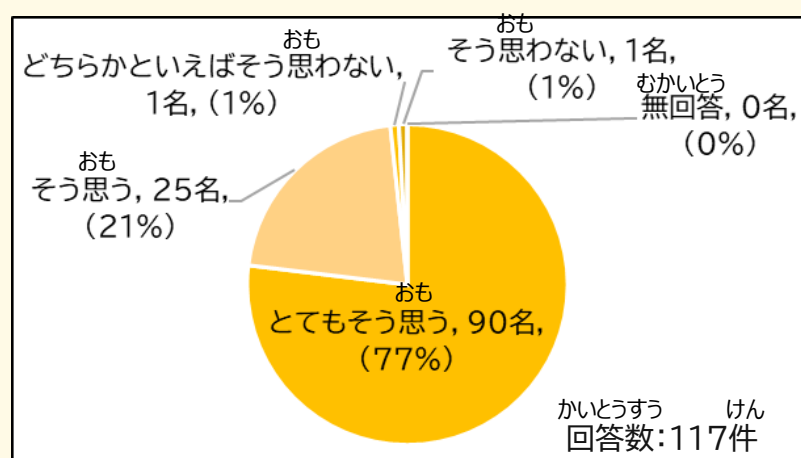
「そう思う」の理由（自由回答）

ほかの人の意見を聴くことができ、これから様々な場面に出会ったときに、その場面をいろいろな見方で考えることができる。将来目指したいと考える、「認め合いができる社会」につながってくるのではないかと感じたから。

自分の周りの友達と意見交流するのはまた違った意見があり、視野を広く持って話し合えたから。

私が今まで考えたことのない方面からの意見や自分の実体験を交えての意見が飛び交っていて、聞いてて教育の課題やそのいいところまでも学ぶことができたので、すごく有意義な時間を過ごせたと思います。

今日の「いけんひろば」では、自分が話したいと思ったことを言えましたか？



話したいと思ったことを言うのがむずかしかった理由（自由回答）

自分が将来取り組みたいことについて伝えるのが難しかった。

批判的なことを言っても良いのか悩みました。

初対面かつオンライン上での話し合いだったので仕方がないとは思いますが、もう少しだけ感じた感じの雰囲気だともっと多くの意見が出たり、話し合いをしやすい雰囲気になったと思う。

そのほか、今日の「いけんひろば」についての感想を教えてください。

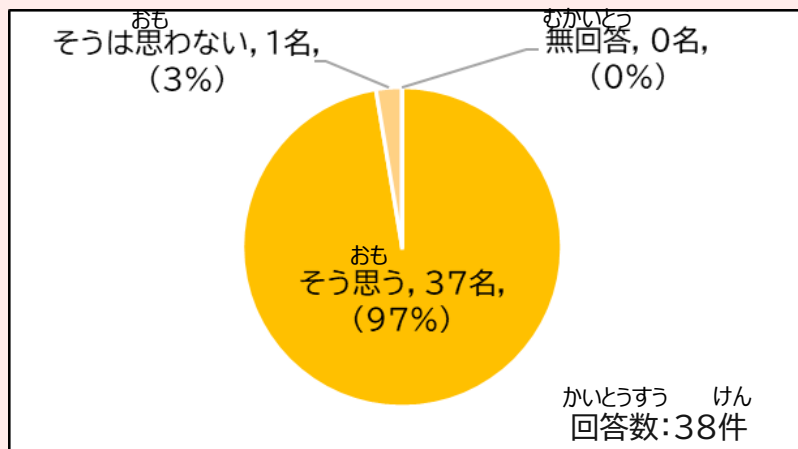
自分がもし教員になったら、自分が関わった指導要領が使われると思うと夢があったと思った。とても良い経験でした。
ありがとうございました！

同じようにどうにか社会をよくしたいと思う同世代がいることにとても誇らしく、うれしく思う良い機会になりました。

参加者アンケート（出向く型）

※一部を抜粋して掲載

今日の「いけんひろば」に参加してよかったと思いますか？



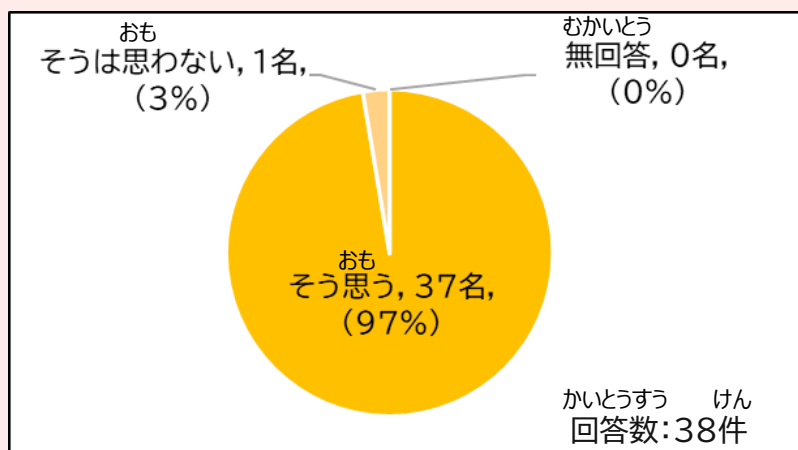
「そう思う」の理由（自由回答）

今までは声にするのが無理なことが声に出して意見として
言いたいことが言えたので良かったなと思いました。

自分の経験を通して意見を述べる場であると
僕は思っているので、色々な意見を言えること
ができた良かったです。

普段の学校生活や社会のことについて、改
めてじっくりと考える良い機会になったと思った
からです。また、「自分ってこんな考えを持って
たんだ」と自分の気持ちを振り返ることもでき
て、すごく良い時間をすごせました。

今日の「いけんひろば」では、自分が話したいと思ったことを言えましたか？



話したいと思ったことを言うのがむずかしかった理由（自由回答）

自分の気持ちを話すのが苦手だったので
むずかしかったです。

考える度に言いたいことが増えてまとめるのが難しかった。

そのほか、今日の「いけんひろば」についての感想を教えてください。

言いたいことが言えてスッキリしました。言ったことが
実行できるようにしてほしいなと思います。

自身がただ意見を発しただけで、未来の教育の参考になるのは責任も感じましたが、それ
以上に貢献できることが嬉しかったです。教育を受ける側の視点も大切だと思いますので、
これからもこの取り組みは続けていきたいです。ありがとうございました。